



2020年1月24日

各位

会社名 株式会社カワニシホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 前島 洋平
 (コード：2689、東証第二部)
 問合せ先 常務取締役
 管理本部長 村田 宣治
 (TEL. 086 - 236 - 1115)

貸倒引当金等の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年1月24日開催の当社取締役会及び当社の連結子会社である株式会社エクソーラメディカルの取締役会において、貸倒引当金等を計上することを決議しました。併せて、2019年8月9日に公表しました2020年6月期の第2四半期連結業績予想と通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 貸倒引当金等計上の内容

輸入販売事業では、呼吸による乳がん検査装置の国内導入に向けて準備を継続していますが、確認作業の遅延により国内導入の予定が当初の見込みより遅れています。現時点で販売開始時期を見直したところ、更に時間を要することが明らかになったので(2022年頃上市見込み)、輸入販売事業において計上していた金融資産について、257百万円の貸倒引当金を計上することとし、販売費及び一般管理費に同額の貸倒引当金繰入額を計上することとしました。

また、上記処理に伴い、当社の単体決算において、当社が保有するエクソーラメディカル株式の関係会社株式評価損約200百万円と、同社に対する貸付金に対し貸倒引当金を103百万円計上することとし、営業外費用に同額の貸倒引当金繰入額を計上することとなりました。

なお、この当社単体決算における会計処理は、連結決算作成上相殺消去されるため連結損益計算書へ与える影響はありません。

2. 連結子会社の概要

(1) 名 称	株式会社エクソーラメディカル
(2) 所 在 地	東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング4階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 大畑 康壽
(4) 事 業 内 容	医療機器製造販売業
(5) 資 本 金	175,000千円

3. 業績予想の修正について

(1) 2020年6月期第2四半期連結業績予想数値の修正(2019年7月1日~2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,115	533	539	353	57.41
今回修正予想(B)	55,547	335	329	169	30.20
増減額(B-A)	432	△198	△209	△184	—
増減率(%)	0.8	△37.2	△38.9	△52.1	—
(ご参考)前期実績 (2019年6月期第 2四半期)	54,381	579	583	371	66.26

(2) 修正の理由

第2四半期連結累計期間の医療器材事業、SPD事業、介護用品事業の業績は、営業利益で医療器材事業が前年実績を下回る見込みですが、その他のセグメントにおいて増収・増益の見込みであり、売上高、営業利益ともに概ね当初の予定通りとなる見込みです。

一方で、輸入販売事業では、呼気による乳がん検査装置の国内導入に向けて準備を継続していますが、確認作業の遅延により国内導入の予定が当初の見込みより遅れています。現時点で販売開始時期を見直したところ、更に時間を要することが明らかになったので（2022年頃上市見込み）、輸入販売事業において計上していた金融資産について、257百万円の貸倒引当金を計上することとし、販売費及び一般管理費に同額の貸倒引当金繰入額を計上することとしました。

これにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が当初見込みを下回る見込みとなりました。

以上により、2019年8月9日に発表いたしました、2020年6月期第2四半期連結業績予想数値の修正をいたします。

(3) 2020年6月期 通期連結業績予想数値の修正（2019年7月1日～2020年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	110,520	1,254	1,265	837	149.12
今回修正予想（B）	110,520	900	911	303	54.15
増減額（B－A）	－	△353	△354	△532	－
増減率（％）	－	△28.2	△28.0	△63.7	－
（ご参考）前期実績（2019年6月期）	107,428	1,301	1,309	775	138.24

(4) 修正の理由

医療器材事業では医療機器の公定価格（償還価格）が消費税増税に伴い2019年10月に臨時改定されました。この改定が当初想定を上回る引き下げとなり、特に循環器領域商品の利益率に影響を及ぼす見込みです。

また、第2四半期連結会計期間において計上することとなった輸入販売事業の貸倒引当金繰入額により販売費及び一般管理費が257百万円増加する見込みです。

その結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が減少する見込みとなりました。

また、現在当社の子会社の支店移転を検討しています。この移転の決議を当期中に行った場合は、既存の支店が遊休不動産となる見込みであり、当該不動産の減損処理を実施し約200百万円の特別損失が発生する可能性があります。この見込み額を通期の業績予想に加味したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が減少する見込みとなりました。

以上により、2019年8月9日に発表いたしました、2020年6月期通期連結業績予想数値の修正をいたします。

（注）上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものであります。従いまして、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上